

# 水道料金的大幅値上げはストップを 4 市 3 町の首長、来年 4 月から賛成多数で強行



江原一雄の市議会報告

## 武雄市民報

日本共産党武雄市委員会  
武雄市武雄町大字武雄 4 0 9 2 - 1  
電話 (23) 1 4 9 3  
武雄市議会議員 江原一雄  
武雄市山内町大字大野 6 7 7 2  
携帯 0 9 0 - 2 0 8 4 - 6 4 0 2  
生活相談はお気軽に相談ください

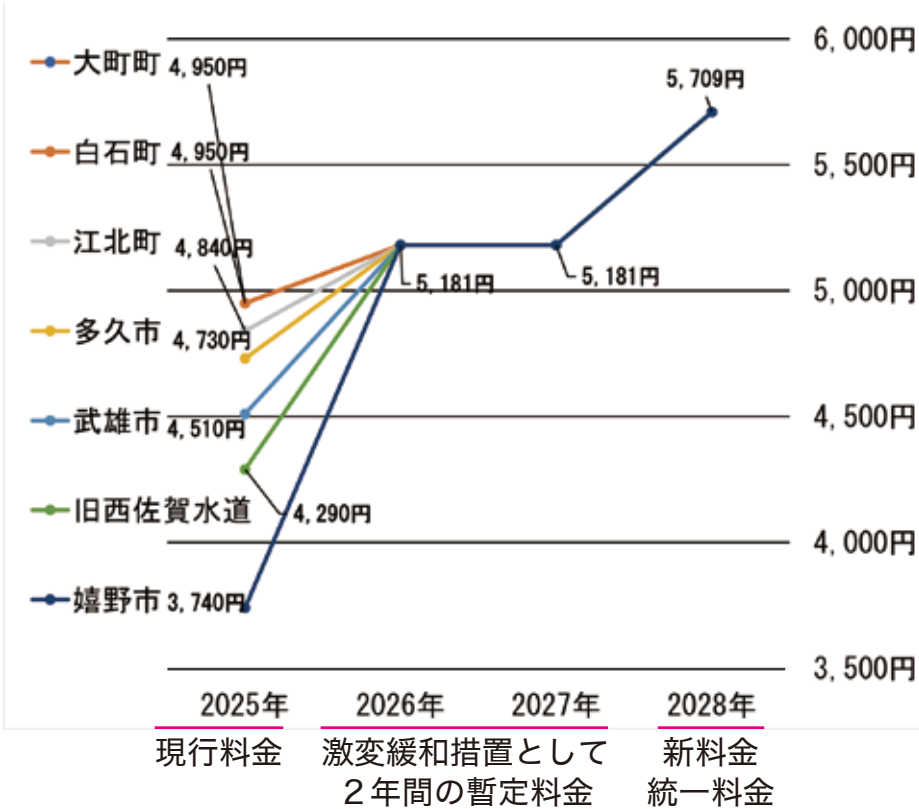
JCP 武雄 検索

スクープ連発

しんぶん 赤旗

日刊 月 3497 円  
日曜版 月 990 円

佐賀西部広域水道企業団水道料金の現行料金と新料金  
(税込月額) (使用水量 20 m<sup>3</sup>)



武雄市は、現行料金 20 トン税込み 4,510 円・から新料金 5,709 円

### 佐賀県内市町の水道料金 (税込み 円)

	10 トン料金	20 トン料金
佐賀市	1,573	3,872
唐津市	1,785	4,810
鳥栖市	1,815	3,630
伊万里市	2,310	4,950
鹿島市	1,936	4,356
小城市	1,815	3,751
玄海町	2,725	5,027
有田町	2,069	4,247
太良町	1,452	3,388
佐賀東部水道企業団	1,573	4,356
佐賀西部広域水道企業団 (武雄市、多久市、嬉野市、大町町、江北町、白石町、西佐賀水道企業団)・	2,524	5,709

### 県下一の水道料金に跳ね上がる

業者の皆さんの声  
◇いまでも苦勞して商売しているが、水道料金を上げられたら、どうやってやりくりすればいいのか、大変です。

市民の声  
◇水道は毎日使うものです。この物価高騰の中、公共料金である水道料を値上げするのは家計にとってもピンチです。  
◇お風呂に入れなくな



今般、物価高騰のなか、公共料金である水道料金が値上げされることは家計にも営業にも大きなしわ寄せです。今回の値上げの理由に、水道事業の取り巻く環境は、人口減少や、事業費の増大、施設管路の老朽化、耐震化などの理由を挙げて、国からは、

立ち入り検査等を通じ水道法令等に従い、資産維持費を水道料金設定の基礎に含めるなど適正な水道料金を設定するよう指導や指摘があっている。従って適正な水道料金に改正するとの説明で、国から水道法令等に従い指導があると言われています。

この物価高騰のなか市民、業者の方々の悲鳴を聞いてきました。国の指導(値上げ)は許されないし、何のために広域合併したのか問われます。値上げ案は撤回して国、市町の負担金を増額して市民負担を見送ることが政治の仕事ではないでしょうか。佐賀西部広域水道企業団の議会が賛成多数で強行されることは許されません。みんなで声を挙げてストップさせましょう。

知らされていません。まして、市民にとっては今回の値上げについては突然降ってきたようなものではないでしょうか。

目的には、「この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道を計画的に整備し、及び水道事業を保護育成することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。」とされ、水の清浄・

2 年度) から佐賀西部広域水道企業団に加入していただく事業の詳細については

物価高騰のなか 悲鳴の声

豊富・低廉の 3 原則を挙げて国民の福祉向上に寄与することが示されています。



# 文化会館大ホール廃止なら 中規模ホール必要の声

6月定例議会  
で  
拡がる

6月定例市議会で、5名の議員から、文化会館大ホールの解体は止む無しです、が、それに代わる施設として、中規模ホールの必要性を求める声が拡がりました。

市長は、北方中央公民館ホール等で対応したいとの説明です。新幹線開業以来、「西九州のハブ都市」を標ぼうする武雄市なら、そして、文化の殿堂の施設は合併後、市の中心地に必要であり、市民融和にも絶対必要です。（一般質問要旨）

江原一雄議員 6月定例議会、文化会館の大ホールの問題について

市長の認識を聞きたいと思えます。佐賀新聞の報道で「武雄市文化会館大ホール、廃止・解体へ」という記事です。皆



さんから大変驚きの声を聞きました。私も驚いた一人であります。昨日、6月10日付記事「武雄市文化会館大ホール廃止方針が波紋」というタイトルで、「市議会傍聴席、再考を求める市民で満席」と。この新聞記事の報道を見てですね、昨日の議員の質問にもありました。やはり共通したのは、再考を求め、新たなビジョンで中ホール等の施設に衣替えしてほしいと提案も、ビジョンも示されたところであります。市長、どのように受け止められたか答弁を求めます。

小松市長 これまでのプロセスですけれども、12月に一旦立ち止まって考えたいというふうに議会でも表明をし、そしてその後、1月から、様々な文化団体の方も含めて意見の聴取を行ってききました。今、2つの民意があると。1つは、やはり将来の子供たちに負担を残してはいけないという民意と。そして、文化活動をする場所が大事であって、そういう場として残してほしいと

いう民意があるというふうに、この2つあるということをして私は認識をしました。

江原一雄議員 令和6年3月議会では武雄市新文化交流施設エリア整備基本設計の概要版として、議会に示されたものであります。そのとき、ここに大ホール棟ということ

で、小ホールは潰したわけですから、大ホールは残すという説明を議会の側にはずっとこの間、継続してこれは続いてきたわけなんです。だから、この時点まで、本当にこの大ホール棟が残るものだというふうになっていました。

ところが昨年の12月議会、松尾初秋議員の質問で、市長は「そういった状況を考えてですね、大ホールの改修については、ここは一旦、立ち止まって考えたいというふうに判断をしております」と答弁されました。こども教育部理事の答弁で、「解体、廃止の方針案のほうでは、ほかの公共施設も含めて機能強化を図るというふうにしておりますので、その具体的な内容については、まだ利用者の方に伝わっていません」と。と。やっぱり、初日、傍聴者や関係者の皆さんも多く集まって視聴された、傍聴されたように、今、市長言われたんですけど、まだ市民にとっては納得して

いない課題だということを受け止めてほしい。

私の思いは、1市2町が合併して、来年20年なんです。市長が、この間、新幹線が開通して、西九州のハブ都市として、キャッチフレーズを掲げて、そして、市のバスにもキャッチフレーズを掲載されております「西九州のハブ都市」としてと。その武雄市文化会館のホールというのは、まさに市民の文化のよりどころです。武雄市のこの歴史を考えたら、文明開化、明治維新を踏まえて、鍋島藩武雄領の領地の下で、歴代の本山昌太郎市長や石井義彦市長など、やっぱりこの西日本最大の文化会館の活用で、当時も含めて私も50年、この武雄で政治活動に関わりながら、文化施設、様々な活用させていただいてきました。市民の皆さんにとっても、大ホールや小ホール、やっぱり文化の殿堂ですよ。それが他の施設に代替できないものなんだと私は思います。だから、この際、私は財政の問題も当然ありますけれども、合併した新武雄市の心よりどころのホールが絶対必要だというのを本当に強調したいと思うものです。それは、この「文化」というのを辞書やネットで引きますと、人間生活の様式全てに関わるものです。暮らしの問題、文化の問題、音楽の問題、宗教の問題、政治の問題、人間生活のあらゆるものを総称して文化と。その文化のホールが私は必要だと。県内でも、い

ろいろ、様々な、市町村合併劇が起こりました。その地域には必要だということです。私は再考を求めたいということとで市長と教育長に答弁を求めたいと思います。

松尾教育長 ホールのことについてでございますけれども、今度新しく建設をします新文化交流施設には300人収容の多目的ホールの計画をしております。このホールを活用していただいて、音楽、あるいは演劇、ギャラリーなど、いろんな活用、利用ができると思っております。

小松市長 先ほど12月議会

で、私が「一旦立ち止まる」というふうに言って、そして「市民の皆さんの意見を聞きます」と。そして、さっきの議事録にもう一つあったんですけれども、「ただ、いたずらに時間だけ延ばすということもよくないと思いますので、できれば、今年度中を目標に方向性を決めていきたい」と、そこまで答弁をいたしました。今後の再考をというお話ですけれども、まず一つ、今、パブリックコメントの実施中だということです。解体されて終わりではありません。市内にある施設も活用しますし、しっかりと幅広く皆さんの意見を聞いて、みんな考えていこうというのが今の方針であります。

江原一雄議員 初日も2日目も、市長、教育長の答弁、全く一緒です。変わりません。この6月議会で、市民の思い、賛否両論。そういう中で、あ

えて、この6月議会でこういう意見が、再考を求める意見が、やっぱり噴出したというのは重く受け止めるべきです。これだけ6月議会で市民も、関係者の皆さんも含めて、納得されていないわけです。再考を求めているわけですから、そして、この大ホールの問題、大ホールを中規模、中ホールのなものということで、芸術文化に親しむ、みんなで合併した武雄市が、市民の皆さんが寄り集まって、そういう楽しめるホールは必要だということを再考してほしいと思います。

ふるさと納税返礼品問題、市の対応問われる。  
太平商會は、福岡高裁で敗訴した。3807万円の契約違反を認めて市に返済すべき。



山内農村改善センターの  
多目的ホール改修工事  
188万円で年内に改修